

2021/06/13

インカレディベート 当日のしおり

慶應義塾大学 小野晃典研究会 中央大学 久保知一研究室
関西大学 千葉貴宏ゼミナール 東洋大学 竹内亮介ゼミナール

◆ 会場

- <https://zoom.us/j/99198290612?pwd=dmNrVDlZS3ZsS2F0S0tDMUNwdTU5dz09> (11:00-20:00)
ミーティング ID : 991 9829 0612 パスコード : 686522
- 全員、自分の表示名を「ゼミ名・学年・氏名」に設定してください。
- 試合中、ディベート参加者と司会はカメラをオン、発言する可能性がある時間帯のみマイクもオンに設定してください。オーディエンスは、オーディエンス質問以外、カメラもマイクもオフに設定してください。

◆ 開会式

12:00～12:05 開式の言葉 (小野晃典先生)

◆ ディベート

12:05～12:10 準備

12:10～13:25 **第1試合 千葉ゼミ×竹内ゼミ 2班 ディベート** (司会：久保ゼミ)

13:25～13:35 採点 (小野ゼミ、久保ゼミ)

13:35～13:45 休憩

13:45～15:00 **第2試合 小野ゼミ×久保ゼミ 2班 ディベート** (司会：竹内ゼミ)

15:00～15:10 採点 (千葉ゼミ、竹内ゼミ)

15:10～15:20 休憩

15:20～16:35 **第3試合 久保ゼミ 1班×竹内ゼミ 1班 ディベート** (司会：千葉ゼミ)

16:35～16:45 採点 (小野ゼミ、千葉ゼミ)

16:45～17:15 休憩、集計

17:15～17:20 各試合の採点結果とベストディベーター発表

17:20～17:40 大学院生の講評 (担当の大学院生を確認中)

17:40～17:45 写真撮影

◆ オンライン懇親会

17:55～18:00 開会の言葉と乾杯 (千葉貴宏先生)

18:00～18:20 教員の講評 (久保知一先生)

18:20～18:50 各チームの代表者スピーチ、質問コーナー (第1試合→第2試合→第3試合)

18:50～18:55 写真撮影

18:55～19:00 閉会の言葉 (竹内亮介先生)

◆ディベートのタイムテーブル

左側		右側
肯定派立論 (6分)		
	作戦タイム (2分 10秒)	
		否定派質問 (3分)
		否定派立論 (6分)
	作戦タイム (2分 10秒)	
肯定派質問 (3分)		
	作戦タイム (3分 10秒)	
肯定派反駁 (6分)		
		否定派反駁 (6分)
	オーディエンス質問 (10分)	
	作戦タイム (2分 10秒)	
	フリーディベート (15分)	
	作戦タイム (3分 10秒)	
肯定派まとめ (3分)		
		否定派まとめ (3分)

【合計 73分 50秒】

*マイクオフの確認や LINE 電話等の使用を考慮し、毎回の作戦タイムを 10 秒延長。

◆ディベート大会のルール

1. 大会運営に関するルール

- ・ 全体の進行は総合司会が行います。総合司会は、大会参加ゼミから横断的に立候補者を募ります。
- ・ 各試合の司会と採点・集計係は、その試合に参加していないゼミから選出します。
- ・ 各試合の司会は、口頭で各コンテンツの開始・終了をディベーターに知らせます。終了 1 分前には、その旨をチャット欄に記入します。

2. 司会担当者一覧

- ・ 総合司会：小野ゼミ・加藤愛奈様、都竹卓哉様
- ・ 第 1 試合司会：久保ゼミ・羽木滉太郎様、関谷美帆様
- ・ 第 2 試合司会：竹内ゼミ・尾崎有彩様、西園湖奈津様
- ・ 第 3 試合司会：千葉ゼミ・田村佑介様、前田将太様

※集計担当者と集計責任者については、採点集計マニュアルを参照。

3. ディベート対戦に関するルール（オンライン版）

- ・ 「立論」、「反駁」、および「まとめ」の発表時間は厳守してください。制限時間を超過した場合は、その場で打ち切ることとします。
- ・ 「肯定側質問」および「否定側質問」は、相手の立論の曖昧な点を質問することとします。
- ・ 「オーディエンス質問」は、質疑応答形式で行われます。質問のあるオーディエンスは、ゼミ名と氏名をチャット欄に記入の上、司会が発言者を指定した後、カメラとマイクをオンに設定して発言します。
- ・ 「オーディエンス質問」は、対戦していないゼミから受け付けることとします。
- ・ 「フリーディベート」では最初の発言のみ挙手機能を利用し、司会が最初の 1 名を指名します。その後は、挙手機能を利用せずに自由に議論を行ってまいります。
- ・ 「(肯定側・否定側・オーディエンス) 質問」および「フリーディベート」の時間が制限時間を超過した場合は、その質問の回答者が解答を終えるまで時間を延長します。
- ・ ディベートのタイムテーブル内のカック内に書かれた時間は、最長の制限時間として設定しているため、何も発言が無ければ前倒して終了することが可能です。
- ・ 接続トラブルが発生した場合、立論・反駁・まとめ時には中断しますが（接続トラブル解消後、中断した時点のタイムから再開）、質問・フリーディベート時には続行します。

4. レジュメに関するルール

- ・ レジュメの形式は、自由です。
- ・ レジュメは口頭での議論を整理、もしくは明確にする道具としての位置づけとします。
- ・ 第何試合の肯定派・否定派のどちらかを、レジュメの左上に記載することとします。
例：第 2 試合の否定側のチームの資料だとしたら、[2 否] と書きます。
- ・ 枚数制限として、**立論、補足資料共に 1 ページずつ、計 2 ページまで**とします。
- ・ レジュメの共有は、第 1 試合では直前の準備時間に、その他の試合では直前の休憩時間に行います。チャット欄で PDF ファイルを全体に送信してください。

◆採点・集計

1. 採点項目と採点基準

	肯定派（左側）	否定派（右側）
立論	/10 点	/10 点
反駁	/10 点	/10 点
フリーディベート	/20 点	/20 点
まとめ	/10 点	/10 点
資料完成度	/10 点	/10 点
チームワーク	/10 点	/10 点
合計	/70 点	/70 点

- 「立論」、「反駁」、「フリーディベート」、および「まとめ」は、例えば、主張の理論が一貫しているか、的確な受け答えができているか、オーディエンスを引き込んでいるかなどが採点基準となり、**チームワークは採点対象に含まない**こととします。
- 「資料完成度」は資料の論理性、見やすさが採点基準になります。
- 「チームワーク」は、例えば、きちんと議論に参加していない人がいるかといったことが採点基準となります。
- 6つの採点項目を採点し、合計点が多かったチームを勝利とします。

インカレディベート テーマ案

飲食店はサブスクリプションモデルを採り入れるべきか否か

東洋大学経営学部 竹内亮介ゼミナール 第4期

問題意識

近年、サブスクリプションモデル（消費者が定額制の料金を支払う限り、製品を使用・消費できるようにするビジネスモデル）を採用する企業が飛躍的に増加している。特に、動画配信サービス業界や音楽配信サービス業界では、非常に多くの成功事例が報告されている。

しかし、飲食業界では、サブスクリプションモデルの成功事例だけでなく失敗事例も目立っているのが現状である。例えば、串カツ田中は、割引定期券「田中で飲み pass」を導入している。具体的には、月額 500 円の割引券が提示されれば、400 円以下のドリンク類をいつでも何度でも、1 杯 199 円で提供している。開始から 2 カ月半でカード式と Web 式あわせて 10 万枚以上が発行され、顧客全体の約 15% が購入している計算となり成功しているといえる。一方で、牛角は 2 カ月弱で定額食べ放題「焼肉食べ放題 PASS」を終了した。当初、価格は月額 1 万 1000 円で月 3 回以上行けば元が取れるため店舗は大盛況だった。しかし、割安だったが故に利用者が増えすぎてしまい、同サービスの利用者や非利用者の多くが入店できなくなるという事態が起きたこともあり、最終的には失敗に終わった。

そこで、今注目されているサブスクリプションモデルを飲食店が採り入れるべきか否かについてディベートを行う。肯定派は、①従来のビジネスモデル（定額制の料金を設定しないで製品を提供するビジネスモデル）だけでなく②サブスクリプションモデルも積極的に採用しながら両者を併用することの利点、否定派は、①のみを採用することの利点をそれぞれ議論していただきたい。両陣営の相違点を明確にするために、飲食店が極めて限定的な範囲で②を採用するに留めて①に注力することを肯定派が正当化すること（例えば、「飲食店は、売上全体の 1% 程度の規模で②を展開して①に注力すれば良い」と主張したり、その利点を強調したりすること）は禁止する。

なお、新型コロナウイルスの影響によって飲食店の時短営業や入店制限が起きうる状況を想定し、今後の感染状況の見通しも立っていないものとする。

〈肯定派〉
東洋大学 竹内ゼミナール 4 期

荒井 翔太
西園 湖奈津
山田 治佳

〈否定派〉
関西大学 千葉ゼミナール 6 期

朝比奈 亮
周川 舞
竹谷 歩
竹中 優輝也
田村 佑介
前田 将太

値引きとクーポンはどちらが有効か

慶應義塾大学商学部小野晃典研究会 第19期

■問題意識

値引きやクーポンが、こんなにも人々を魅了するのは何故だろうか。

「買おうと思っていなかったけれど、値引きされていたからついつい買ってしまった。」

「クーポンに釣られて、買う予定もなかったものをついつい買ってしまった。」

このような経験をしたことがある人は、少なくないだろう。値引きやクーポンは、セールス・プロモーション（以下、SP）の一種である。SPとは、「消費者や流通業者に対して、特定の製品やサービスの購入頻度を高めさせる、または購入量を増加させる、短期的なインセンティブ・ツールの集まり」と定義される（Kotler and Keller, 2006）。SPは、消費者の即時的な購買行動を引き起こすことができるため、企業の短期的な売り上げ増加のために常套手段となっている。実際、市場を見渡してみると、SPの対象となった製品や、SPの実施を知らせる広告で溢れている。

このようなSPは、その方法によって、金銭的なSPと非金銭的なSPの2つに分類できる（Quelch, 1989）。そのうち、金銭的なSPには、ある製品を定価よりも低い価格に設定する「値引き」と、次回購買時にある製品を一定額値引きして販売することを保証する「クーポン」がある。

小売店は、値引きとクーポンのどちらを採用すべきであろうか。今回はこの議論に関して、値引き派とクーポン派に分かれて議論を展開していただきたい。

<値引き派>
慶應義塾大学 小野ゼミ

神谷 愛理
喜多村 留衣
鈴木 智也
富江 克優
長谷川 鈴音
丸山 沙里奈
三浦 公輝
山崎 清乃

<クーポン派>
中央大学 久保ゼミ 2班

佐々木 颯大
佐藤 梨乃
関谷 美帆
仲野 啓輔
中村 珠久
納谷 夏美
羽木 滉太郎
山田 果奈
鏝田 千紗

ビジネスホテルチェーンでは ダイナミックプライシングを取り入れるべきか否か

■問題意識

ビジネスホテルチェーンではダイナミックプライシングを採用するべきであろうか。

ダイナミックプライシングとは、状況間で需要に応じて異なる価格を設定するプライシングのことである。(奥瀬喜之 2020)

このダイナミックプライシングを採用している代表的なビジネスホテルチェーンとしてはアパグループが挙げられる。アパグループが経営しているアパホテルは、需要の高くない平日では 5000 円～6000 円くらいの価格を設定し、需要の高まるGWの直前の繁忙期にはシングル素泊まりが1泊約3万円を超える価格を設定している。一方で、大手ビジネスホテルチェーンである東横インでは、消費者の需給の変化に関わらず固定価格制を基本としており、ダイナミックプライシングを採用しない方針を明らかにしている。

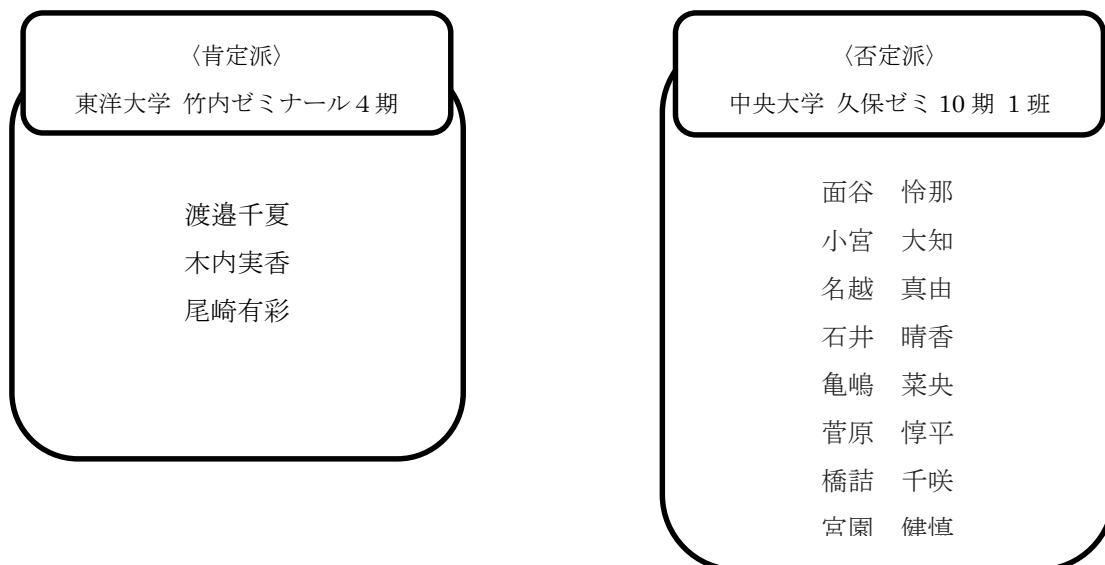
ビジネスホテルでは、ダイナミックプライシングを採用するべきであろうか。今回はこの議題に関して、肯定派（採用するべき）と、否定派（採用するべきでない）に分かれて議論をしていただきたい。

今回採用するデータは、コロナウイルスの感染拡大などの影響を排除するため、2019年までのデータを採用していただきたい。

なお、今回定義するダイナミックプライシングを採用する企業は、通常の平日の価格に比べ、需要に応じて価格を20%以上変化させている企業とする。価格に関しては、企業の公式サイトから予約した場合のものとする。そして、議論の対象とするビジネスホテルチェーンだが、全国に70店舗以上展開している企業に限定していただきたい。

(参考資料)

奥瀬 喜之、デジタル化時代のプライシング, 組織科学, 2020, 54 巻, 2 号, p. 16-25.



得点表

※これはメモ用です。正式な採点入力には GoogleForm を用います。

第1試合 得点表

	竹内ゼミ	千葉ゼミ
立論		
反駁		
フリーディベート		
まとめ		
資料完成度		
チームワーク		
総得点		
ベストディベーター	____ゼミの____さん	

第2試合 得点表

	小野ゼミ	久保ゼミ
立論		
反駁		
フリーディベート		
まとめ		
資料完成度		
チームワーク		
総得点		
ベストディベーター	____ゼミの____さん	

第3試合 得点表

	竹内ゼミ	久保ゼミ
立論		
反駁		
フリーディベート		
まとめ		
資料完成度		
チームワーク		
総得点		
ベストディベーター	____ゼミの____さん	

2021 年度インカレディベート採点集計マニュアル

●各ゼミへのお願い

本資料は、2021 年度インカレディベートの採点集計マニュアルである。各ゼミの集計担当者は、自ゼミが採点を担当する試合において、採点漏れがないように自ゼミ生の統率を行うと同時に、採点ミスがないように注意深く集計を行ってほしい。

●各試合の採点担当ゼミと集計担当者

各試合の集計担当者は、各試合の採点担当ゼミから 2 名ずつ選出された。各試合の採点担当ゼミと集計担当者は、以下のとおりである。

	採点担当ゼミ	集計担当者
第 1 試合	小野ゼミ	井上 岳哉・芝田 朱莉
	久保ゼミ	亀嶋 菜央・宮園 健慎
第 2 試合	千葉ゼミ	竹谷 歩・竹中 優輝也
	竹内ゼミ	木内 実香・山田 治佳
第 3 試合	小野ゼミ	井原 真衣・都竹 卓哉
	千葉ゼミ	朝比奈 亮・周川 舞

●当日の流れ

当日は、以下の流れに従って採点集計を行う。

■1. 当日の朝、各ゼミの集計担当者は、各自の PC で集計用 Google フォームにログインする。

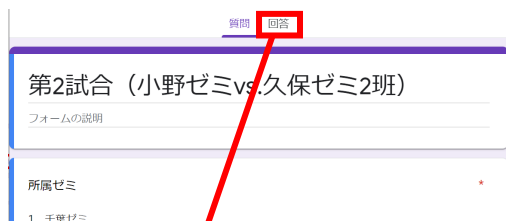
集計用 Google フォームの URL は、無関係者による編集を防ぐために、当日に小野ゼミから各ゼミの集計担当者のみに配布する。

■2. 自ゼミが採点を担当する試合の開始前に、集計担当者が自ゼミ生へ採点用 Google フォームの URL を共有する。

集計担当者は、自ゼミが採点を担当する試合の開始前に、自ゼミ生へ採点用 Google フォームの URL を共有して、試合終了後に試合の採点を行うように指示する。なお、当日の対戦の組み合わせと各試合の採点用 Google フォームの URL は、以下のとおりである。

第 1 試合	千葉ゼミ 対 竹内ゼミ 2 班	https://forms.gle/GkUJ8CbxuvghKn28A
第 2 試合	小野ゼミ 対 久保ゼミ 2 班	https://forms.gle/GvGF499Q34DLrMEx9
第 3 試合	久保ゼミ 1 班 対 竹内ゼミ 1 班	https://forms.gle/ogzgt1KjJZJ44VAu6

各試合終了後に、採点担当ゼミのゼミ生は、10分間で試合の採点を行う。各試合の採点担当ゼミの集計担当者は、自ゼミ生に対して残り時間のアナウンスを行って、全員が時間内に回答を提出するように注意喚起を行う。採点時間終了後に、各試合の集計責任者は、採点用 Google フォームを操作して、回答を締め切る。なお、回答の締め切り方と各試合の集計責任者は、以下のとおりである。



①「回答」タブをクリック。



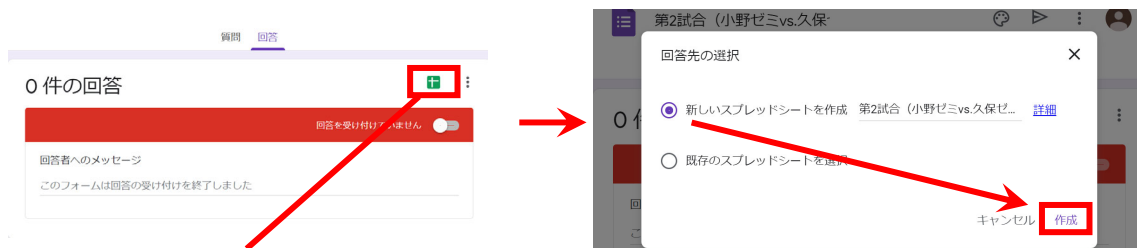
②「回答を受付中」のスイッチをクリックし、オフの状態にする（画像はオンの状態）。

第1試合集計責任者	井上 岳哉
第2試合集計責任者	木内 実香
第3試合集計責任者	朝比奈 亮

■3. 全試合終了後に、各試合の採点担当ゼミの集計担当者4名（2ゼミ×2名）が、ブレイクアウトルームに入室し、3名が見守るなかで、集計責任者1名が代表して、採点結果を集計する。

集計責任者は、自分のPC画面を他の集計担当者に共有しながら、以下の手順に従う。

3-1. 採点シート（スプレッドシート）を Google フォームから作成する。

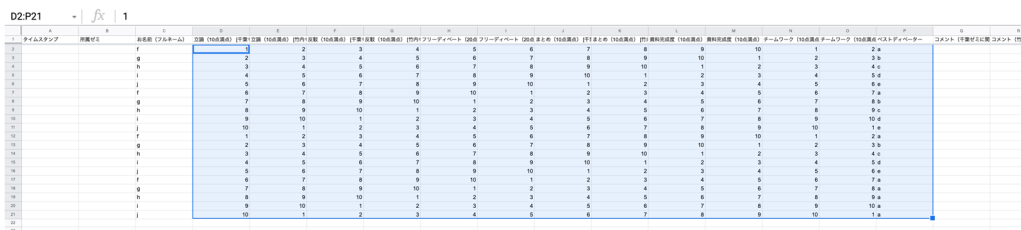


①画面右上の緑色のアイコンをクリックする。

②「新しいスプレッドシートを作成」を選択し、「作成」をクリックする。

3-2. Google フォームからダウンロードした採点結果を開き、結果の部分を選択して、コピーする。

※選択範囲は、D列の「立論」～P列の「ベストディベーター」（1行目を除くデータ箇所）のみ。



3-3. 担当している試合の採点シート（エクセル）にログインする。採点シート（エクセル）の URL は、無関係者による編集を防ぐために、当日に小野ゼミから各ゼミの集計担当者の方に配布する。

3-4. 3-2 でコピーした採点結果を、採点シート（エクセル）にペーストする（A2 セルを選択し、「Ctrl +V」を押す）。

3-5. 合計得点が、採点シート（エクセル）の【O2~V3】に反映される。

	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
									ベストディベーター *O列を並び替えて、 一番多い人を探す
		立論	反駁	フリーディベート	まとめ	資料完成度	チームワーク	総合得点平均	
千葉ゼミ	5	5.33333	5.666666667	6	5.5	5	5.42		
竹内ゼミ2班	5.166667	5.5	5.833333333	5.75	5.75	5.166666667	5.53		

3-6. 表示される合計得点を見て、各セルに事前に指定されている計算式が、正常に機能していることを確認する。次に、採点シート（エクセル）の【M列】を見て、ベストディベーターとして最も多く指名されている者の氏名を確認して、【W2】に記載する。なお、指名された数を数える際には、採点シート（エクセル）の【M列】を一時的に並び替えるとよい（【M列を選択】→【右クリック】→【並び替え】→【昇順】）。

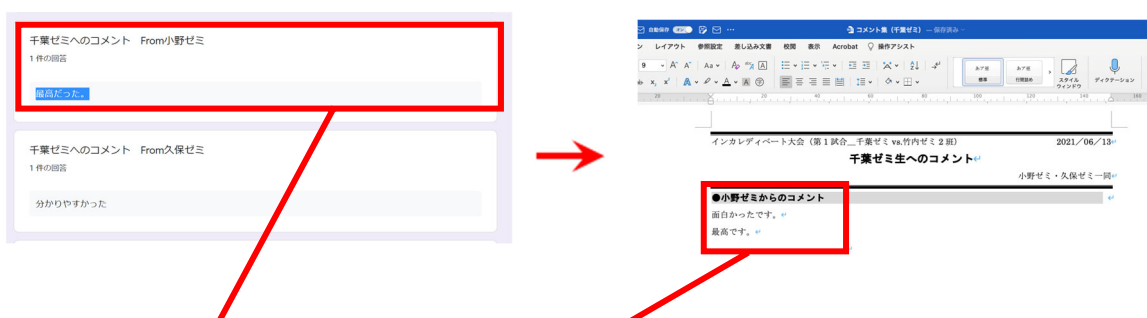
①M列を見て、ベストディベーターを確認する。

②ベストディベーターを記載する。

■4. 全試合終了後に、各試合の採点担当ゼミの集計責任者が■3. の集計作業を行う様子を見守りながら、残りの集計担当者3名のうち2名が、コメント集を作成する。

4-1. 各試合の採点担当ゼミの集計責任者が、集計作業を行う間に、残りの集計担当者3名のうち2名は、試合を行った2ゼミを1つずつ担当して、コメント集を作成する。コメント集を作成する集計担当者2名は、採点用 Google フォームの回答末尾に記載された各担当ゼミへのコメントをコピーして、指定のワードファイルにペーストする。コメントは、個人名は匿名とするが、所属ゼミ別に貼り付ける（各ゼミの集計担当者は、ゼミの名誉のために、上質なコメントを心掛けるように、所属ゼミ生に促してほしい）。なお、ワードファイルの URL は、以下のとおりである。

	対象	コメント集作成者	ワードファイルの URL
第1試合	千葉ゼミ	小野ゼミ	https://1drv.ms/w/s!At-NzCpQza35rhWH4I-LrkqnQLvD
	竹内ゼミ 2班	久保ゼミ	https://1drv.ms/w/s!At-NzCpQza35rhflyMwczAb7HF2x
第2試合	小野ゼミ	千葉ゼミ	https://1drv.ms/w/s!At-NzCpQza35rhkveBxSPTo5oA50
	久保ゼミ 2班	竹内ゼミ	https://1drv.ms/w/s!At-NzCpQza35rhvIjbAIDBvTLRbL
第3試合	久保ゼミ 1班	千葉ゼミ	https://1drv.ms/w/s!At-NzCpQza35rh4vXsXVxmFwm6xV
	竹内ゼミ 2班	小野ゼミ	https://1drv.ms/w/s!At-NzCpQza35riAx5z27yUk9aVc3



- ①所属ゼミ別のコメント欄を選択してコピーする。 ②所属ゼミに分けてペーストする。 ③もう1つの採点担当ゼミのコメントも同様に作業する。

4-2. コメント集を作成する集計担当者2名は、コメントをペーストしたワードファイルを PDF 形式で保存して、Zoom のプライベートチャットで小野ゼミの井上に送信する。全試合終了後に、総司会が、全試合の集計結果の発表を行ったと同時に、小野ゼミの井上は、全てのコメント集を1つに圧縮した zip ファイルを Zoom のチャットで全体に向けて送信する。なお、ファイル名は「コメント集（コメント対象のゼミの名前）」とする。

(作成) 2017年度 中央大学 久保知一ゼミナール

(改訂) 2021年度 慶應義塾大学 小野晃典ゼミナール